



こう つう あん ぜん
小学生の交通安全

ど う ろ
道路には
 き け ん
どんな危険があるの？



■上映時間 19分

■DVD

ライブラリー価格 63,000円 (税込)

学校価格 31,500円 (税込)



企画・制作 / **サン映像企画**

TEL 03-5760-7480 FAX 03-3705-7799

企画意図

親の目を離れて行動するようになる就学児童では、自分の判断で適性な安全行動を取ることが要求されます。このDVDでは、「なぜ交通ルールは守らなければ危険なのか」「道路のどんなところに危険が潜んでいるのか」「どうすれば安全なのか」など、その意味や理由を子ども自身に考えさせ、気づかせ理解を深める方法を取ります。自分で考え理解することは、交通ルールの遵守や、道路に潜む危険の予測能力を高め、交通事故の防止につながる筈です。また、思いやりの心が安全に繋がる事に気付いてもらい、一人でも多くの子どもが自分の判断で、適切な安全行動の取れる様になることを願い企画しました。

内 容

□道路の正しい渡り方と歩き方

- ・道路を渡る時、一旦止まり、右、左、右の安全確認をするのはどうして？
- ・「人は道路の右側、車は左側通行」のルールを守らないとなぜ危険？
- ・ななめ横断はなぜ危険？
- ・路側帯のある道路では？
路側帯からはみ出すと危険なことに気付かせるとともに、路側帯のない道路では右端を歩く理由も考えます。

□信号のある横道歩道では？

- ・青は渡ってよい、赤は駄目、青のチカチカでは渡らないなど、歩行者用信号の意味を理解させます。

□交差点で注意することは？

- ・交差点では右折したり、左折する車もあるので、青信号でも漫然と渡らず、車の動きに注意する。
- ・左折、右折、ブレーキ、停止、バックする時の車の合図を知っておくと車の動きが分かる。

□車の特性を知っていると？

- ・車は急に止まれない。通りに飛び出すことの危険性に気付かせる。
- ・車には見えにくい場所がある(死角)。止まっている車の後ろで遊ぶ子どもを例に、CG等を利用し、死角の危険性を理解させる。
- ・車が曲がる時、前のタイヤと後ろのタイヤの通るところが違う(内輪差)。その危険性を理解することで、交差点などの曲がる車に注意を向けさせる。

□見通しの悪い道路では？

- ・止まれの標識や標示はなぜあるの？
止まれの標識や標示のあるところは見通しの悪い交差道路。互いが見え難いので止まって安全を確認しないと危険なことを理解させる。
- ・止まれの標識や標示のない見通しの悪い交差道路やT字路では？
とにかく見通しの悪いところでは、もしかしたら危険が潜んでいるかも知れないと予測し、必ず一旦止まって安全確認が必要な事をよく理解させる。

□危険の予測って？

「もしかしてこんな危険なことがあるんじゃないかなって考えてみる事」が危険の予測の意味であること。
例えば 駐停車中の車の前後から飛び出すと・・・バイクと危うく。
住宅の車庫や駐車場から突然車が出てくる事も。
歩道を歩いている時も、自転車などの動きを予測しないと・・・。
いろんな交通場面で危険を予測することが安全に繋がることを理解させる。

□夜の道 車からはどう見えている？

夜はとにかく目立った服装をし、反射材などを大いに活用して、車やバイク、自転車に存在を知らせる。
早く気付くことが危機回避に繋がる。
交通社会では互いに相手のことを思いやるのが安全に繋がることに気付かせる。

企画・制作 (有)サン映像企画

お問合せ
お申込み

各都道府県・各地区交通安全協会
財団法人 全日本交通安全協会

〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-13 TEL050(3531)0571